

愛知民報

2019年8月25日第2458号

発行所 愛知民報社〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号愛知あかつき会館内☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063定価 月400円 郵送料164円 1部100円毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を周りに人に

半田・名古屋で展示会

知多半島の戦跡

航空兵器生産と特攻出撃の拠点

10、11両日に半田市内でおこなわれた「知多半島 戦争と平和展」と、15日から18日まで名古屋市内で開催された「あいち平和のための戦争展」で、知多半島の戦争遺跡が展示がされました。旧日本軍の航空兵器生産と特攻兵器の出撃拠点という戦時下の知多半島の特徴が浮き彫りになりました(資料出典=同展示物および知多教職員9条を守る会「知多半島戦跡MAP」)

三菱航空機大府工場と飛行場

現在の大府市と東海市にまたがる地域に、戦時中三菱航空機大府工場と飛行場がありました。町民と朝鮮人労働者を動員して1944年完成し、旧日本陸軍の四式重爆撃機「飛龍」が製造されました。北海道の地崎組(現在の岩田地崎建設)事業所から中国人強制連行者480人を移送し、滑走路の拡張工事に酷使した結果、133人の死傷病者が出ました。

中国人の遺骨を預かった東海市富木島町の玄猷(げんにゅう)寺では「大府飛行場中国人殉難者慰霊祭」が毎年おこなわれています。今年は9月14日(土)午後2時から。



水上飛行機を下ろす「スリップ」の跡＝美浜町

美浜町古布(こふ)地区の海岸には、水上飛行機を海に降ろすための「スリップ」(すべり台)の跡が残っています。ここは、旧海軍の教育施設・河和(こうわ)航空隊があった場所です。同隊は1943年開設。各種水上機の整備要

員を育成していました。戦争末期には数千人の隊員を抱えていました。地元集落の住民は、基地造成のために土地を強制収用されました。また、造成工事は、朝鮮人を含む3000人の勤労奉仕で実施されました。

海岸にすべり台の跡

河和海軍航空隊スリップ

人間魚雷「回天」格納壕

特攻艇「震洋」格納壕

南知多町内には、人間魚雷「回天」を格納する壕を掘った跡もあります。人間魚雷とは操縦隊員もろとも米艦に体当たりして沈める兵器。全国で約1000人の特攻隊員が命を落としました。

知多半島

中部国際空港

三河湾

中島飛行機半田製作所

中島飛行機半田製作所(現SUBARU=スバル)では、1943年12月から旧日本海軍の艦上攻撃機(戦争末期は特攻機)「天山」、艦上偵察機「彩雲」など約1400機の軍用機が製造されました。このため米軍の標的とされ45年7月24日の「半田空襲」がおこなわれました。周辺地域を含め約2200発の爆弾が投下され、死者は270人以上にのぼりました。

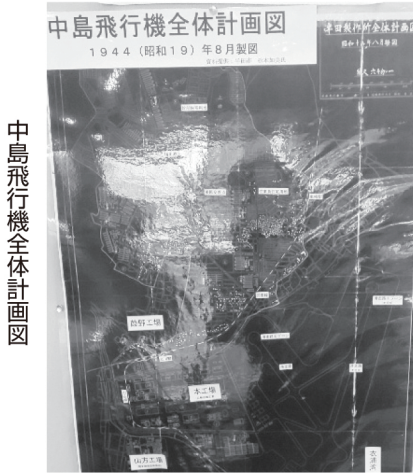


特別攻撃艇「震洋」



「震洋」格納壕跡＝南知多町

南知多町の知多バス「新師崎」(しんしろざき)停留所近くに、太平洋戦争末期に米艦への「体当たり攻撃」の特別攻撃艇「震洋」(しんよう)を格納していた壕(こう)の跡が残っています。



中島飛行機全体計画図

半田空襲の標的に